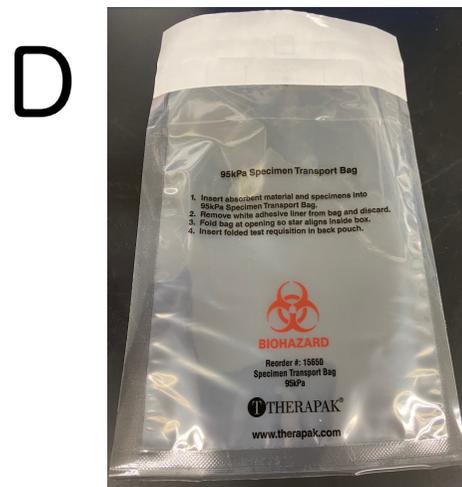
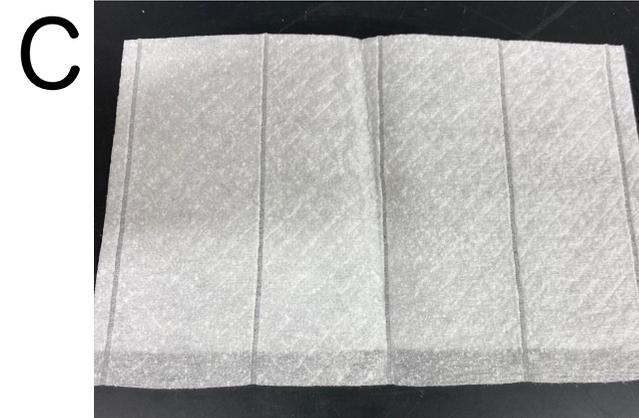
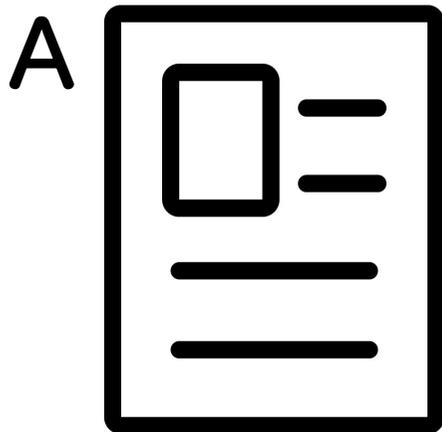


# SFTSウイルス 検査キット内容



キット内容をご確認ください。

A: 依頼書 B: 検体容器（不活化液入り） C: 吸水袋  
D: 検体梱包袋 E: 段ボール F: セキュリティシール

SFTSが疑われる場合は、必ず個人用防護具(PPE)を着用して下さい！

キャップ

ゴーグル

マスク



手袋

◆感染動物から人への感染リスクがあります

◆感染動物の血液、唾液、便、尿を含めた体液にはSFTSウイルスが含まれます

✓ 次亜塩素酸ナトリウム、消毒用アルコール、オートクレーブによるウイルス不活化が有効

◆使用したPPEは適切に処理しましょう

✓ 汚染を広げないように脱ぐ

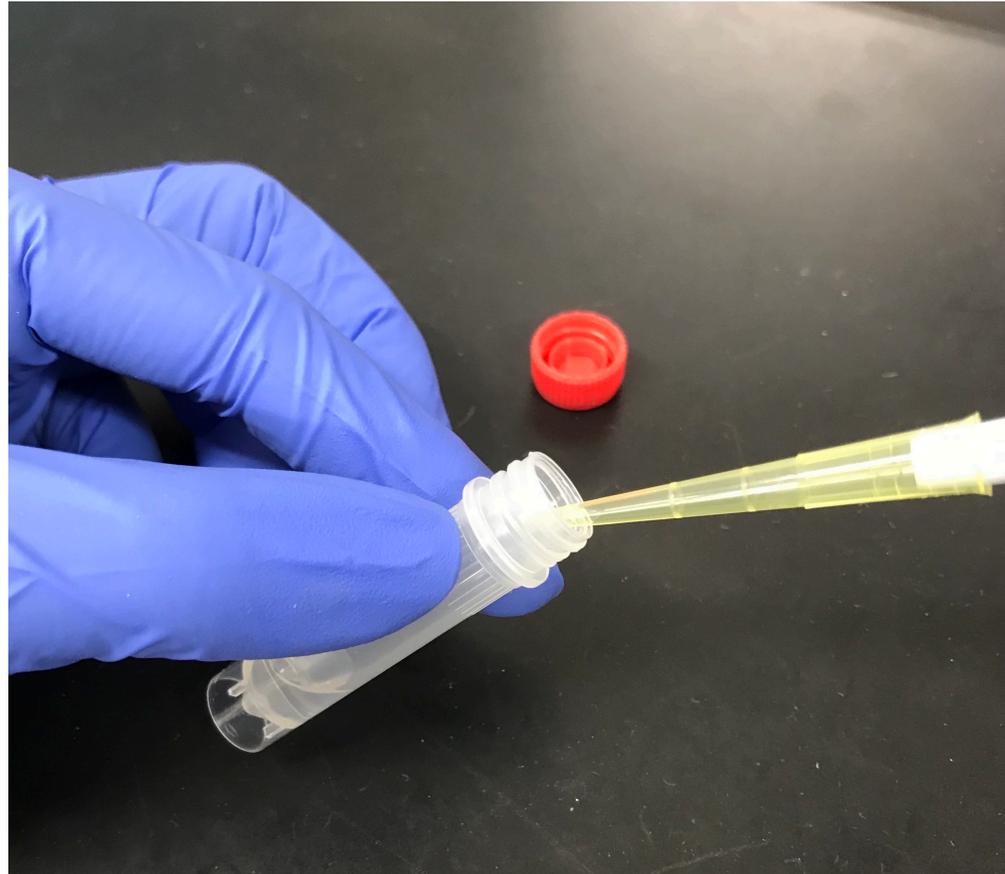
✓ 消毒を行ってから廃棄する



～参考～

[東京都獣医師会「SFTS疑い猫の診療簡易マニュアル」](#)

# ① EDTA血漿を入れる

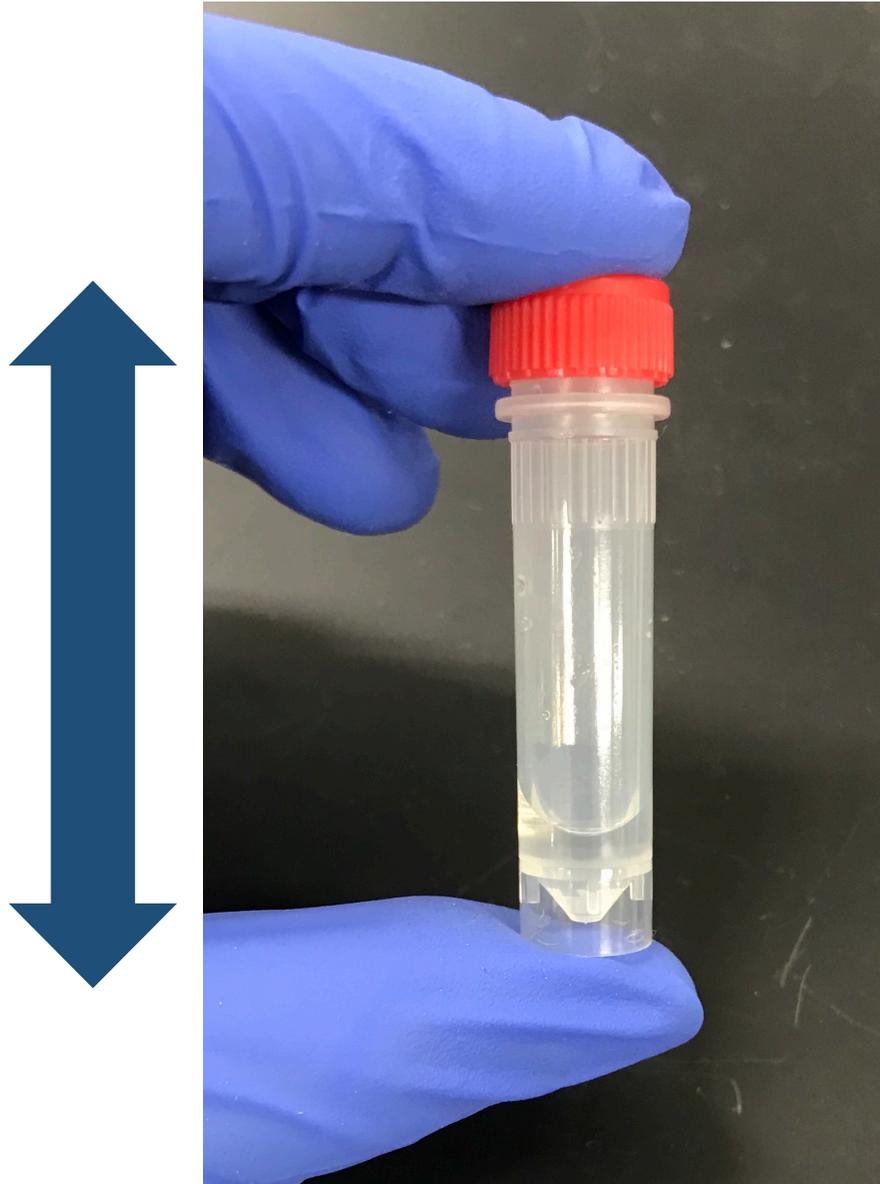


EDTA採血管から、  
血漿を100 $\mu$ L

検体容器に入れてください。

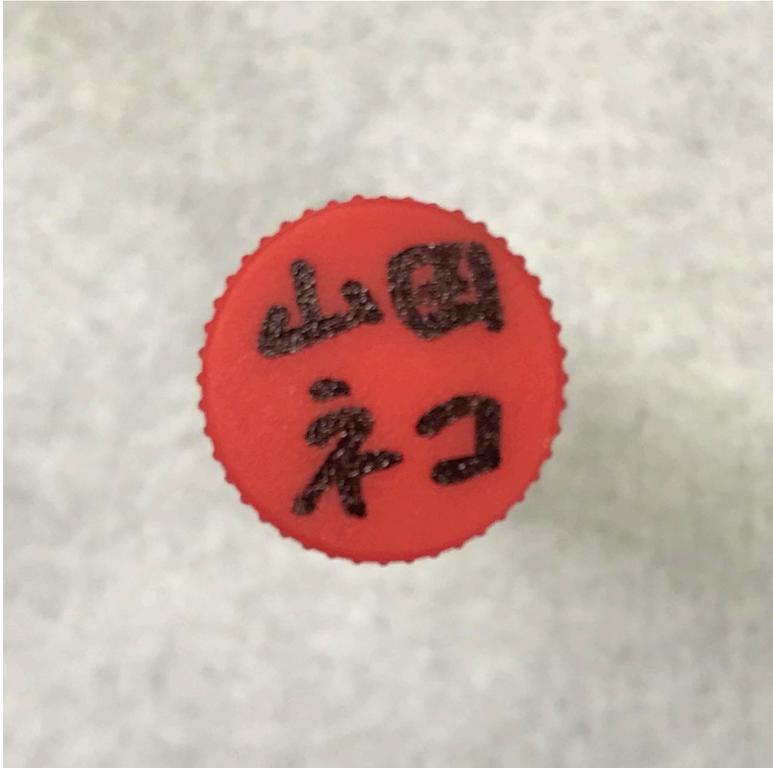
※ヘパリンを使用したものは検査できません。

## ② EDTA血漿と不活化液を混ぜる



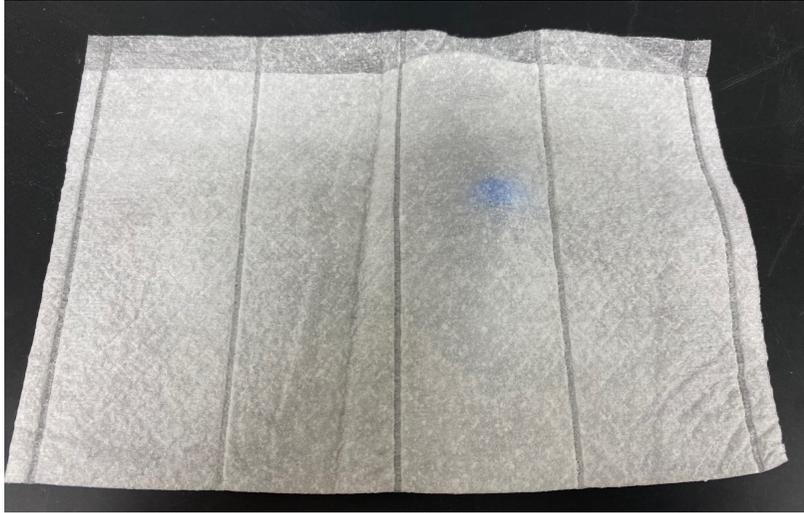
蓋をしっかりと閉め、  
血漿と  
ウイルス不活化液が  
混ざるように十分振盪して  
下さい。

### ③ 検体名を記入する

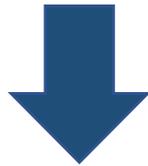


蓋に症例名を  
記載してください。

## ④ 吸水紙で包む

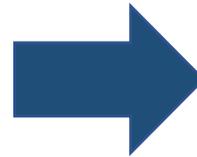
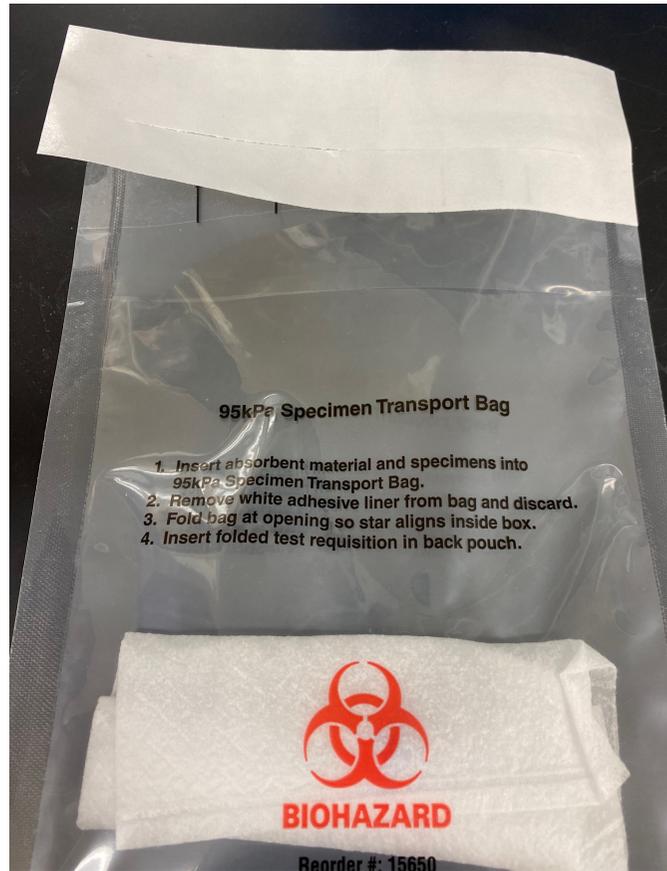


吸水袋に検体を入れてください。



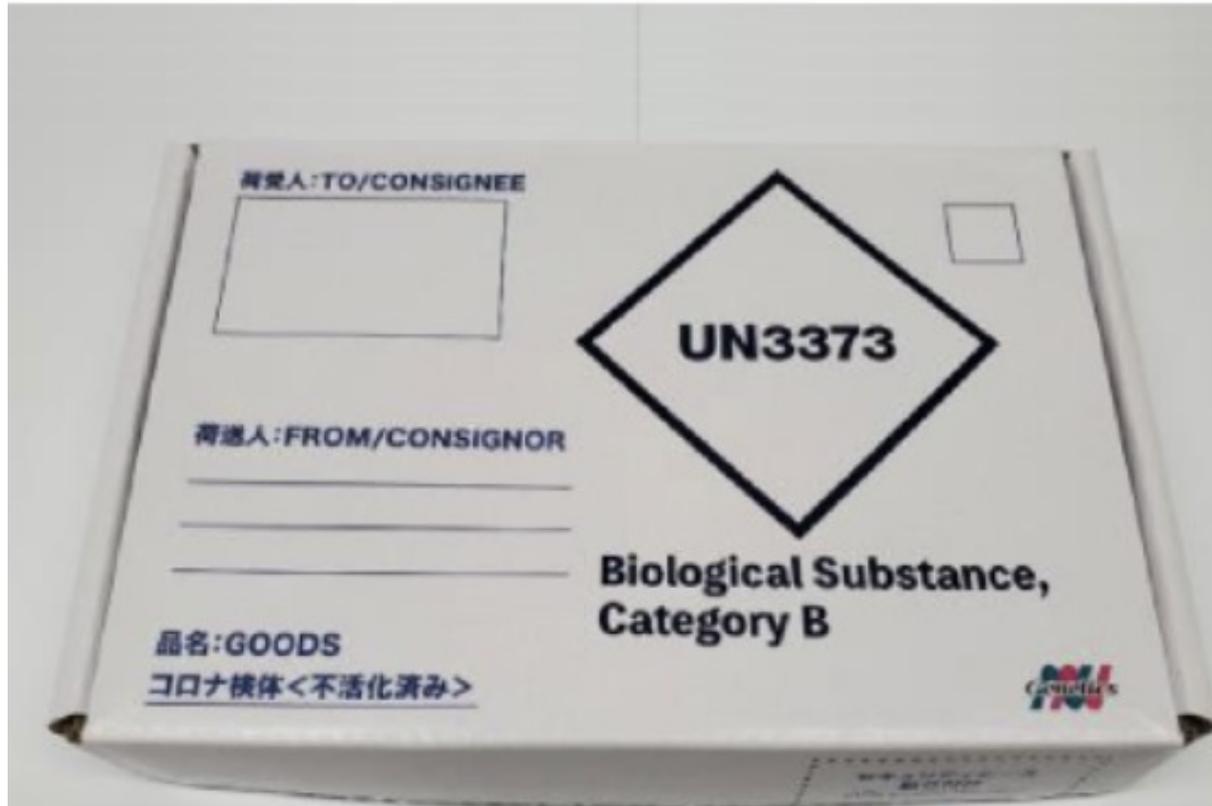
吸水袋を丸めてください。

## ⑤ 検体梱包袋に入れる



白いシールを剥がし、□の中に★マークが来るように折り曲げてください。

## ⑥ 段ボールに梱包する



依頼書を検体梱包袋とともに段ボールに入れてください。  
(段ボールの組み立て方は別紙を参照)

## ⑦ セキュリティーシールを貼る



最後に、添付のセキュリテーシールを指定された場所に貼り付けてください。

## 検査結果が陽性だった場合

- ◆ SFTSウイルス陽性と判断された場合、国立感染症研究所への情報提供を行う場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。
- ◆ 発症した動物の体液（血液、唾液、尿など）には感染性のあるウイルスが含まれています。
- ◆ ウイルスの不活化には下記の方法が有効です。
  - ◆ 70% エタノール
  - ◆ 1% ビルコン
  - ◆ 0.5% 次亜塩素酸ナトリウム液
  - ◆ オートクレーブによる加熱滅菌処理



～参考～

[東京都獣医師会「SFTS疑い猫の診療簡易マニュアル」](#)